

様式2

学校名（ 尼崎市立武庫中学校 ）

実施日：11月13日（3・4校時）【1年生】、（5・6校時）【2年生】	
領 域：教科（保健体育）	
取組名：「命の教育」講演会	
対 象：1・2年生 保護者 地域の方	実施場所：特別教室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思春期の心や体の変化を確認し、男女が相互に正しく理解することで認め合い、思春期の不安にもきちんと向き合える態度を養う。（1年）</li> <li>・ 異性との関係性や性感染症について知り、責任ある行動がとれる態度を養う。（2年）</li> </ul>	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <p>講師 思春期保健相談士 徳永桂子さん</p> <p>1年</p> <p>事前指導 小学生のころと比べて変化してきたことをグループで発表させる。 思春期の心の特徴から、自分の行動について考えさせる。 講師への質問を書かせる。</p> <p>講演内容 ・性被害について・男性器/女性器の働き（布模型）・第二性徴について ・心のコントロール（心のコップ）・思春期に多い性の悩み</p> <p>2年</p> <p>事前指導 異性を選ぶときに何を大切にするのか、グループ発表させる。 望ましい男女交際のあり方について考えさせる。 講師への質問を書かせる。</p> <p>講演内容 ・異性との関わり・望ましい関係とは・性感染症・色々な性・中絶/子宮外妊娠・性交 事前に生徒に書かせた質問に答えながら話を進めていく授業形式を取った。また、講演終了後に講師と個人的に相談できる時間を設定するとともに、講師が持ってきた性や生に関する本を閲覧できるようにした。</p>	
ウ 連携先：保護者 地域	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <p>オープンスクール期間中に講演を行い、保護者や地域の人たちにも来てもらえるように案内を出した。 参加できなかった方のために、学校通信や学校掲示板を使って講演の様子を知らせた。</p>	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <p>保健体育科の授業の一環としての講演であるが、事前指導内容については推進委員会で検討した後、職員会議で討議し、全職員の共通理解を図った。授業は各担任が行い、講師への質問を書かせた。</p>	
<p>カ 評価の方法</p> <p>生徒感想文 [別紙①]</p>	
<p>キ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質問に答える形式で講演が進められたので、生徒はより身近な問題として捉える事ができた。</li> <li>・ 発達段階に応じて、生命を尊重する心を育成できた。</li> </ul>	
<p>ク 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープンスクール期間中に講演を行い、保護者や地域の方の参加を増やそうとしたが少なかった。</li> <li>・ 性の問題は家庭でも話しにくいので、保護者の参加を多くするような企画が必要である。</li> </ul>	